

開講科目名 / Course	社会保険法 / Social Assurance Law
時間割コード / Course Code	E1F50012_E1
開講所属 / Course Offered by	経済学部 / Faculty of Economics
ターム・学期 / Term・Semester	2020年度 / Academic Year 第3クォーター / 3Q
曜限 / Day, Period	水 / Wed 1
開講区分 / semester offered	後期 / the latter term
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	金川 めぐみ / Megumi Kanagawa
科目区分 / Course Group	-
授業形態 / Lecture Form	
教室 / Classroom	
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	金川 めぐみ / Megumi Kanagawa (経済学部(教員))
授業の概要・ねらい / Course Aims	少子化・高齢化などの人口的变化、国際化、医療費の増大、社会保障費全体の増大など、現代の社会保障制度には財政基盤や構造を揺るがしかねない問題状況が山積しています。本講義ではこのような社会保障制度の状況、特に医療・年金といった保険原理を採用している制度に対して、具体的な事例を素材とした講義を行います。
到達目標 / Course Objectives	1) 講義第1~2回で紹介する社会保険法の総論における基礎概念についていくつかのキーワードを用いて説明できるようになる。 2) 講義第3~13回で紹介する社会保険分野における具体的な判例について、列挙し、その内容を述べることができる。さらに具体的な判例における課題について説明できる。 3) 最終確認試験における論点に対して、その内容を適切に述べるができる。
成績評価の方法・基準 / Grading Policies/Criteria	・各界の授業で実施する事前課題と事後課題(75%)、最終確認試験(25%) ただしみなさんの受講状況によりこの評価基準は変化する可能性があります。評価基準の変更がある場合は、Moodleのアナウンスメントにて周知をします。 ・最終確認試験は持ち込み可とします。
教科書 / Textbook	西村健一郎・朝生万里子・金川めぐみ・河野尚子・坂井岳夫『社会保険の考え方 法的理解と実務の論点』ミネルヴァ書房、2018年。
参考書・参考文献 / Reference Book	日本社会保障法学会編『これからの医療と年金』法律文化社 2012年。 西村健一郎ほか『労災補償とメンタルヘルス』信山社、2014年。 川人博『過労自殺 第2版』岩波新書、2014年。 堀勝洋『年金保険法〔第4版〕：基本理論と解釈・判例』法律文化社 2016年
履修上の注意・メッセージ / Notice for Students	新聞・メディアの社会保険関係の情報を常に敏感に摂取し、授業に積極的に参加していただくことを望みます。授業中になるべく各自で考える機会を設けますので、この点につき承知をした上で受講をお願いします。
履修する上で必要な事項 / Prerequisite	この授業は「社会保険関係法」の単位を取得した者は、履修できません。
履修を推奨する関連科目 / Related Courses	私の担当科目には、公的扶助法、社会福祉サービス法、社会保障法総論があります。 なお他の関連科目としては、雇用関係法、雇用政策法、労働団結法、人権保障システム法総論、行政法総論、行政作用法、民法[総則]、民法[親族・相続]、社会政策(雇用と労働)、社会政策(社会保障)、労働経済論、社会保障論があります。
授業時間外学修についての指示 / Instructions for studying outside class hours	授業計画欄で指示しています。
その他連絡事項 / Other messages	この授業は、Moodle(オンデマンド型 スライド+音声)を使用して授業を進めます。 原則、授業のある曜日・時限に教材を公開します。 原則毎回、事前課題と事後課題が課されます。課題や最終確認テストの期限は授業中に示し、原則として期限の延長はいたしません。
授業理解を深める方法 / How to deepen your understanding of classes	物事を理論的に深く考える力を養成します。
オフィスアワー / Office Hours	後期：水曜日12:30-13:00 訪問先：西3号館5F520研究室 なお遠授業に伴って、学修に関する質問や相談があれば、Moodleのフォーラムで受け付けます。
科目ナンバリング / Course Numbering	E236002PJ
高等教育無償化に関する特記事項 / Special note on free higher education	

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) /Time (date and time)	主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's position	学習方法と内容 /Methods and contents	備考 /Notes
		授業計画は、受講登録人数、みなさんの内容の理解度や進捗状況等により変更する可能性があります。	
第1回		学修項目：ガイダンス・社会保障・社会保険の沿革 予習課題：シラバスに眼を通しておくこと 復習課題：講義で学んだ社会保険の沿革について確認しておくこと	
第2回		学修内容：社会保険の概念、労災保険（労災補償制度の意義/保険者/保険給付/労災保険法上の「労働者」概念） 予習課題：学修/振り返りシート（1）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（1）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第3回		学修内容：労災保険（保険料/業務上・外認定） 予習課題：学修/振り返りシート（2）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（2）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第4回		学修内容：労災保険（過労障害/過労死） 予習課題：学修/振り返りシート（3）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（3）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第5回		学修内容：労災保険（通勤災害と逸脱・中断） 医療保険（医療保険制度の沿革/適用範囲/体系） 予習課題：学修/振り返りシート（4）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（4）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第6回		学修内容：医療保険（保険給付/給付方式の原則と例外） 予習課題：学修/振り返りシート（5）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（5）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第7回		学修内容：医療保険（医療保険の法的関係、健康保険法/国民健康保険法の意義、被保険者） 予習課題：学修/振り返りシート（6）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振り返りシート（6）の学修後項目の内容について復習しておくこと	

授業計画詳細 / Course schedule

回(日時) /Time (date and time)	主題と位置付け(担当) /Subjects and instructor's position	学習方法と内容 /Methods and contents	備考 /Notes
第8回		学修内容：医療保険（財源と保険料/高齢者医療） 予習課題：学修/振返りシート（7）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振返りシート（7）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第9回		学修内容：年金保険（年金制度の体系/公的年金と私的年金の違い/年金給付における通則） 予習課題：学修/振返りシート（8）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振返りシート（8）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第10回		学修内容：年金保険（国民年金と厚生年金保険、老齢年金給付、遺族年金給付） 予習課題：学修/振返りシート（9）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振返りシート（9）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第11回		学修内容：年金保険（障害年金給付、財政と保険料、年金の逸失利益） 予習課題：学修/振返りシート（10）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振返りシート（10）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第12回		学修内容：社会保険法制に関するグループワーク：情報収集 予習課題：学修/振返りシート（11）の学修前項目に記載しておくこと 復習課題：学修/振返りシート（11）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第13回		学修内容：社会保険法制に関するグループワーク：分析 予習課題：グループワークのワークシートについて理解しておくこと 復習課題：グループワークのポスターを完成させ、準備をしておくこと	
第14回		学修内容：社会保険法制に関するグループワーク：報告 予習課題：グループワーク報告の内容を理解し準備しておくこと 復習課題：学修/振返りシート（12）の学修後項目の内容について復習しておくこと	
第15回		学修内容：講義のまとめと最終テスト 予習課題：講義全体の内容についてあらかじめ確認しておくこと。 復習課題：講義のまとめと理解度テストの内容につき、今一度学修を深めておくこと	